

その他の起因物を起因物（小）とする死亡災害事例（1999-2021年）

年	月	発 生 時	死亡災害事例	業種 （小） コード	事故 の型 コー ド	労働 者規 模
2021	1	16 ～ 18	新型コロナウイルス感染症に感染し、死亡した。	130201	90	100 ～ 299
2021	1	20 ～ 22	新型コロナウイルス感染症による。発熱し、PCR検査を受け、新型コロナウイルスへの感染が判明した。事業場内において、被災者ほか3人の労働者に新型コロナウイルスの感染が確認された。その後、入院加療を続けていたが、死亡した。	40301	90	10～ 29
2021	1	16 ～ 18	新型コロナウイルス感染症による。社会福祉施設での訪問介護業務を担当していたところ、発熱し、その後新型コロナウイルス陽性判定となり、死亡したものの。	130201	90	10～ 29
2021	1	18 ～ 20	同じ職場の労働者が連日続けて新型コロナウイルスに感染。被災者（派遣労働者）は、風邪症状にて受診、同日検査の結果陽性となり、入院したが、後日死亡した。なお、当該事業場ではコロナ感染症のため、労働者複数人が休業している。	11203	90	100 ～ 299
2021	1	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による。社内で新型コロナウイルス感染症の陽性者が発生し、同時期に体調不良があった被災者もPCR検査で陽性が確認された。後日死亡。	11403	90	10～ 29
2021	1	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による。介護施設に勤務中、従業員1名が新型コロナウイルス感染が判明。同じ施設内に勤務していた被災者はPCR検査実施、翌日に陽性が判明、自宅療養後、入院し、入院先にて死亡した。	130201	90	10～ 29

2021	1	10 ～ 12	事業者Aに所属する労働者が新型コロナウイルス感染症を発症していることが判明した。その後、同事業場内で7名の労働者が次々と新型コロナウイルス感染症を発症。被災者は、PCR検査で陽性となり、同日、病院に入院したものの、新型コロナウイルスの感染症による急性心筋梗塞の合併により心肺停止し、死亡した。	170201	90	50～ 99
2021	1	12 ～ 14	新型コロナウイルス感染症による。被災者は、新型コロナウイルスに感染していると判明する前の利用者に対して訪問介護サービス（生活支援）を行っていた。その利用者の感染が判明した後、被災者は濃厚接触者と判定され、PCR検査を受けた結果、陽性と判断された。その後、療養していたが、新型コロナウイルス感染症により死亡した。	130201	90	10～ 29
2021	1	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による。38度台の発熱があったが解熱したため1月20日まで勤務を継続。再度、発熱したためPCR検査を受検し陽性判定。自宅療養していたが、様態が急変し、搬送先の病院で死亡。社内で他に5名が陽性。うち1名が死亡。	40201	90	30～ 49
2021	1	8 ～ 10	被災者はデイサービスの送迎運転者の仕事をしていた。事業場の他の職員が新型コロナウイルス検査で陽性となった。数日後、被災者は体調不良となり、38度の発熱があった。被災者の症状が悪化したため、病院に緊急搬送され、その後脳梗塞を併発し、死亡した。	130201	90	10～ 29
2021	1	8 ～ 10	新型コロナウイルス感染症による。当該事業場施設内で新型コロナウイルス（COVID-19）感染症に罹患し、死亡したものの。	130201	90	10～ 29
2021	1	10 ～ 12	新型コロナウイルス感染症による。病院2階にて新型コロナウイルス感染症にかかるクラスター事案が発生。病院内に新型コロナウイルス感染症が蔓延している最中、当該労働者の勤務場所は同病院2階から5階厨房へ変更になったが、後日、新型コロナウイルス感染症に罹患していることが判明したものの。治療の甲斐なく死亡。	10109	90	1～9
		0	新型コロナウイルス感染症による。被災者は新型コロナウイルス感染症陽性者の治療を担当する医師であったが、体調不良となりPCR検			100

2021	1	1 ~ 2	査を実施したところ、陽性反応となったもの。入院療養を続けていたが、新型コロナウイルス感染症を直接死因として死亡したもの。	130101	90	~ 299
2021	1	10 ~ 12	施設利用者に新型コロナウイルス感染症の感染を確認。被災者は当該利用者の身体介助、食事介助等、身の回りの介助を行っていた。発熱の症状がでたため、PCR検査を受診、陽性判定となった。判定後は自宅療養となったが、呼吸症状が悪化し、救急搬送された。その後入院加療中であったが、後日、死亡した。	130201	90	10~ 29
2021	1	0 ~ 2	新型コロナウイルス感染症による。タクシー運転手として発症前14日間で177人を乗車させ、倦怠感が発症したが勤務を継続し、1月下旬に体調不良で早退後、救急搬送されPCR陽性となり治療を継続したもの数日後死亡。社内で他に5名が陽性。うち1名が死亡している（業務上外は現時点で不明）。	40201	90	30~ 49
2021	2	0 ~ 2	被災者は、出張のため、出張先（国外）へ到着後、2週間の隔離を終え、後日出張先国内で移動し、現地社員と会議や会食を行った。さらにその数日後の夕刻、会食予定場所に被災者が現れないことから、宿泊ホテルに連絡したところ、居室で倒れているところをホテルの従業員に発見された。現地病院に緊急搬送されたものの、死亡が確認された。	170209	90	1000 ~ 9999
2021	2	0 ~ 2	新型コロナウイルス感染症による。施設内にて、新型コロナウイルス感染利用者の介助（食事、排泄等）業務を行い、PCR検査を受け陽性となり入院中であったが、死亡したもの。	130201	90	100 ~ 299
2021	2	8 ~ 10	新型コロナウイルス感染症による。社会福祉施設に看護師として勤務していたが、当該社会福祉施設にて新型コロナウイルスのクラスターが発生し、当人も発症。PCR検査を受けた結果陽性判定となり入院。その後、死亡したもの。	130201	90	100 ~ 299
		12	被災者は、訪問介護ヘルパーとして、利用者宅での家事業務及び買物、通院同行等の介護業務に従事していた。被災者は、倦怠感・咽頭			

2021	3	～ 14	痛の症状があり、医療機関を受診し、PCR検査を受けた結果、陽性となり、「新型コロナウイルス肺炎」と診断された。その後、入院し、療養していたが、「新型コロナウイルス肺炎」を死因として、死亡した。	130201	90	30～ 49
2021	3	～ 2	新型コロナウイルス感染症による。施設利用者が発熱し、コロナウイルス感染の陽性と判定された。被災者は同施設に介護職員として勤務しており、コロナウイルスに感染した施設利用者と接触していた。発熱し、PCR検査で陽性反応が出たため、治療を受けていたが、入院先の病院にて死亡したものの。	130201	90	10～ 29
2021	3	～ 16 ～ 18	新型コロナウイルス感染症による。被災者は施設利用者（後日、陽性が判明）を軽自動車で送迎した。また同日に他のスタッフ1名（後日、陽性が判明）と業務の引継ぎを行った。保健所のPCR検査でコロナウイルス感染症の陽性が判明（この時点では無症状）。宿泊療養施設に入所、その後発熱し、自室で死亡しているのが発見された。	130201	90	50～ 99
2021	3	～ 0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による。他の労働者において新型コロナウイルスへの感染が判明したことから、PCR検査を行い、翌日に陽性反応が確認された。以降、医療機関で入院加療中であったが、死亡が確認されたものの。	30199	90	10～ 29
2021	3	～ 0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による。1回目のPCR検査では陰性であったものの、後日、下痢の症状及び体調不良が認められた。その後容態が急変し、救急搬送され、PCR検査で陽性が判明するとともに死亡が確認されたものの。	130201	90	1～9
2021	3	～ 10 ～ 12	スーパーマーケット店舗の複数人の労働者が新型コロナウイルス感染症に感染し、クラスターに認定されたことを契機に、店舗労働者全員に対してPCR検査を実施したところ、同日に陽性判定となった。自宅療養等を行っていたものの、死亡したものの。	80209	90	30～ 49
		14	新型コロナウイルス感染症による。業務中（医薬品配置訪問販売）に体が痛くて、とてもだるく、発熱の症状が見られたため、PCR検査			

2021	3	～ 16	を実施したところ陽性判定を受けた。自宅待機後に入院していたものの、死亡したものの。	80209	90	1～9
2021	4	～ 12	新型コロナウイルス感染症による。被災者はタクシー乗務の勤務終了後に体調不良となり、診療機関でPCR検査を実施。検査の結果「陽性」と判断され、その後、保健所の指示により自宅待機を行っていた。その後、自宅待機中の数日間連絡が取れなかったため、同僚が自宅を訪れたところ、既に死亡していたものの。	40201	90	100 ～ 299
2021	4	～ 14	被災者は警備員で、同僚と引継をしたり、警備業務で不特定多数の人間と接触していた。同僚が新型コロナウイルスに感染していることが判明し、被災者は医療機関を受診した。その後、発熱等の症状が現れ、PCR検査で陽性となり、新型コロナウイルス感染症と診断された。以降、自宅療養していたが、自宅で新型コロナウイルスによる肺炎で死亡した。	150101	90	50～ 99
2021	4	～ 6	新型コロナウイルス感染症による。38.7度の発熱が生じたため、翌日にPCR検査を受検したところ、陽性判定となり、ホテル療養を開始した。しかしながら39度の発熱が5日間続いたため、入院するも、死亡したものの。	40201	90	100 ～ 299
2021	4	～ 10	被災者が送迎していたデイサービスの利用者が新型コロナウイルス感染陽性であることが判明した。被災者が濃厚接触者としてPCR検査を受検し、陽性判明。入院し、治療開始。後日死亡。	130201	90	30～ 49
2021	4	～ 12	入院病棟において新型コロナウイルス感染症の陽性判定となった患者が3名確認され、被災者は当該患者の食事、排泄及び介助等を行っていた。発熱症状があり他の医療機関でPCR検査を実施した結果、陽性と判明した。その後、自宅療養していたが状態が悪化し他の医療機関へ入院した。その後、状態が軽快したため他の医療機関へ転院したが再度状態が悪化し、死亡したものの。	130102	90	30～ 49
		0	新型コロナウイルス感染症による。保育所で主に延長保育に従事する			

2021	4	～ 2	保育士として勤務。当保育所で新型コロナウイルス感染症に感染した職員が出たため、職場でPCR検査を受け、陽性と判明。その後発症し、死亡した。	130201	90	50～ 99
2021	4	～ 8	新型コロナウイルス感染症による。被災者は医療機関においてマスク及び手袋を着用して清掃業務に従事していたが、入院患者に新型コロナウイルスの感染者が認められたため、当病院においてPCR検査を受けた。PCR検査の結果が陽性であったことが判明し、翌日入院したが、当日に容態が急変したため、転院し、後日死亡した。	150101	90	100～ 299
2021	4	～ 10	8 デイサービス職員と利用者全員の新型コロナウイルス感染にかかる検査を実施したところ、被災者が新型コロナウイルスの陽性判定の結果となったものである。	130201	90	100～ 299
2021	4	～ 10	8 新型コロナウイルス感染症による。被災者が勤務する職場の同僚が新型コロナウイルス感染症を発症した。被災者は体調不良のため受けたPCR検査で陽性判定となったので自宅療養していたところ、数日後に自宅で入浴中に死亡したものの。	80109	90	10～ 29
2021	4	～ 10	8 新型コロナウイルス感染症による。同僚の新型コロナウイルス陽性者ととともに車に同乗し、後日発熱。PCR検査にて陽性判明。医療機関にて入院中に死亡。	30209	90	1～9
2021	4	～ 2	0 新型コロナウイルス感染症による。コロナウイルス感染者の送迎を担当したことや、施設利用者の介護業務での接触があった為、濃厚接触者として保健所のPCR検査実施。結果、陽性と判明。発熱等の症状はなかったが、自宅待機期間中に症状が発生し、ホテル療養、その後、入院したが、数日後死亡。	130101	90	10～ 29
2021	5	～ 2	0 新型コロナウイルス感染症による。被災者が清掃業務を行っている病院内で新型コロナウイルス感染者が発生した。被災者は体調不良のため医療機関Aを受診、翌日別の医療機関Bで受けたPCR検査の結果が陽性判定となったため、同日医療機関Cに入院したが数日後死亡した。	150101	90	100～ 299

2021	5	18 ～ 20	新型コロナウイルス感染症による。隔日勤務の終了後、公休日に体調不良を訴え、翌日からの勤務を欠勤した。新型コロナウイルス感染症の陽性判定を受け、入院加療していたが、死亡した。	40201	90	100 ～ 299
2021	5	14 ～ 16	新型コロナウイルス感染症による。被災者が介護業務に従事していたところ、微熱などの風邪症状が生じ、PCR検査で陽性反応が出た。陽性判明後、すぐに帰宅し、以降は自宅待機をしていたが、重度の症状になっていたため病院に入院し、数日後死亡が確認されたもの。	130201	90	10～ 29
2021	5	10 ～ 12	新型コロナウイルス感染症による。自宅にて高熱を発症し、PCR検査を受診したところ陽性判定となる。そのまま自宅療養となり、数日後に容体が悪化し、亡くなったもの。	40201	90	100 ～ 299
2021	5	6 ～ 8	新型コロナウイルス感染症による。業務として行われた取引先との会食に、緊急事態宣言下にあった地域から参加していた取引先担当者との接触があり、後日、医療機関でのPCR検査で陽性判定。その後加療を行っていたが、容態が急変し死亡。	30203	90	1～9
2021	5	18 ～ 20	新型コロナウイルス感染症による。施設内調理場で、調理員として勤務。他の労働者が新型コロナウイルス感染症の陽性者となり、濃厚接触者と判断され、その後自宅療養となる。熱、咳の症状があり、PCR検査を実施したところ、陽性と診断される。数日後からホテル療養の後、自宅療養。被災者と連絡がとれなかったため、自宅に行ったところ、被災者が亡くなっているが発見された。	130201	90	100 ～ 299
2021	5	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による。被災者が送迎していた労働者2名がPCR検査で陽性判定。数日後PCR検査を実施し、陽性判定、入院したが死亡したもの。	170101	90	30～ 49
2021	5	0 ～ 2	タクシー乗務員である被災者が新型コロナウイルス感染症を発症したもの。	40201	90	30～ 49
		14	被災者は同僚とともに会社所有の圃場で材料の検査を行い、同僚と車			

2021	5	～ 16	で移動中に車内で打ち合わせ、翌日会議室で打ち合わせを行った。同僚が新型コロナウイルスに感染していることが判明し、後日、被災者も感染が判明し入院加療中であつたが死亡したもの。	30199	90	1～9
2021	5	～ 2	複数の同僚が新型コロナウイルスに感染した職場の同一フロアで勤務していたところ、被災者は新型コロナウイルスの症状が現れたため、同日PCR検査を実施したところ陽性と判明し、数日後に死亡した。	170209	90	100 ～ 299
2021	5	～ 2	被災者は、新型コロナウイルスの感染が広がる中、窓口での接客業務に従事していた。発熱したためPCR検査を受け陽性が確認された後、数日後に死亡したもの。被災者は支店長職にあり、コロナ禍での出勤調整が行われる中、他の労働者より多く出勤し窓口での対面業務に従事していた。	90101	90	10～ 29
2021	5	～ 10	被災者は、海外出張先の土木工事現場で施工管理に従事していた。朝8に風邪のような症状があり、数日後PCR検査を受け陽性判明する。入院して酸素吸引と点滴を受けるも小康状態が続き悪化を案じてチャーター機で帰国する。日本国内の病院で治療を受けるが死亡が確認されたもの。	170101	90	10～ 29
2021	5	～ 18	被災者はタクシー乗務員として勤務。発熱症状が認められ、PCR検査を実施、新型コロナウイルス感染症の陽性判定を受けた。その後、新型コロナウイルス感染症による肺炎により死亡した。	40201	90	500 ～ 999
2021	5	～ 18	被災者は、タクシー乗務員で、不特定多数の乗客と接触し、業務では医療機関への送迎もあつた。被災者は、業務上の交通事故により、医療機関を受診した。その際に、交通事故による外傷は打撲傷などであつたが、外傷精査で肺炎の疑いがあり、PCR検査の結果、陽性が判明した。その後、被災者は、自宅療養した後、医療機関に入院し治療を継続していたが、死亡した。	40201	90	50～ 99
2021	5	～ 16	昼食時に食堂で新型コロナウイルスに感染していた同僚の隣の席で食事をしていたため、新型コロナウイルスに感染して死亡した。同僚が陽性を確認され、被災者はその数日後、身体の痛み等を訴え、PCR	11209	90	10～

		18	検査を実施、翌日に陽性と確認される。入院し、治療を続けていたが重症化して死亡した。			29
2021	5	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による。被災者は駅管区で駅業務に従事しており、発熱し、病院を受診。新型コロナウイルス感染症の陽性が判明した。その後入院し治療を継続したが、死亡した。同駅では、被災者の感染判明前後に複数名のり患者が発生している。被災者は勤務中常時マスクを使用していたが、日々の業務は、不特定多数の旅客等との近接や接触機会が多くあったことから、感染リスクは拭えない状況であった。	40101	90	100 ～ 299
2021	5	2 ～ 4	被災者は障害者の入居するグループホームに介護業務に従事。本年4月に施設内で新型コロナウイルス感染症の感染があったため、PCR検査を受検したところ陽性が判明。自宅療養、ホテル療養を経て、入院療養となり療養中であったが、新型コロナウイルス感染症による肺炎により死亡したものの。	130201	90	30～ 49
2021	5	0 ～ 2	被災者は、新型コロナウイルスに感染していた同僚の労働者とともに同一の事業場内で勤務していたことから、同ウイルスに感染したものの。感染源となった同僚が陽性判定を受けたため所属事業場が休業となり、被災者は自宅待機していたが、後日、亡くなっているところを家族に発見された。なお、被災者は亡くなる数日前に体調不良となり、PCR検査を受け陽性であることが確認されている。	170209	90	30～ 49
2021	5	8 ～ 10	電気制御関連プログラム作成の為、事業場Aへ出張中、通勤途上のスーパー駐車場で倒れているのを通行人に発見され、救急搬送された病院で死亡した。検査の結果、コロナ関連肺炎と診断されたもの。出張先において、濃厚接触者7名が認定され、うち隣席の1名が陽性者であった。	11009	90	50～ 99
2021	5	0 ～	被災者は食品スーパーでレジ・品出し担当として勤務していた。発熱後、容体が急変し入院治療をしていたが「細菌性肺炎」で死亡したも	80209	90	30～

		2	の。なお、同一店舗で勤務する10名が感染しクラスターが発生していた。			49
2021	6	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による。被災者はタクシー運転手であり、勤務終了後に帰宅したところ、37.7度の発熱があり、数日後に病院にてPCR検査を受け陽性反応が出た。民病院に入院したが、死亡したものである。	40201	90	50～ 99
2021	6	0 ～ 2	緊急事態宣言下、頻繁な移動を伴う出張を繰り返し、多人数の業務関係者と接する中、被災者は新型コロナウイルスの感染の症状が現われ、受診した翌日PCR検査で陽性が判明し、数日後死亡した。	170209	90	50～ 99
2021	6	0 ～ 2	建設工事現場で内装の解体作業に従事していた被災者が、発熱の症状が出て、PCR検査で新型コロナウイルス感染症の陽性判定となり、入院治療後に死亡したものの。本件建設工事現場では、被災者の他9名の労働者がPCR検査で陽性判定されている。	30201	90	1～9
2021	6	0 ～ 2	新型コロナウイルスに感染して緊急入院するも、新型コロナウイルス肺炎により死亡したものの。勤務地はパーテーションで区切られた教室内で通気性はよくなく、教育事業という特性上、生徒、講師、保護者との面談等が頻繁にあり、近距離での会話が避けられないなど、感染リスクが高い業務であった。	120109	90	1～9
2021	7	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による。被災者は当該事業場で接客・販売業務を担当していた。発熱のため早退したが、2日後は出勤して職域接種で新型コロナウイルスのワクチンを接種した。後日、再び発熱し、その後、出勤と欠勤を繰り返していたところ、自宅で死亡が確認されたもの。	80209	90	100 ～ 299
2021	7	8 ～ 10	被災者は、ドライバーとトラックに同乗し配送を行っていたが、ドライバーが発熱しPCR検査を受けたところ、新型コロナウイルスに感染していることが判明。被災者もPCR検査を実施したところ、陽性判定となった。被災者はその後容体が悪化し、敗血症により死亡した。	40301	90	30～ 49

2021	7	10 ～ 12	新型コロナウイルス感染症による。従業員1名に新型コロナウイルス感染症の感染が確認されたため、被災者を含む従業員及び利用者へ検査を実施したところ、被災者が陽性と診断された。被災者は同日からホテル療養を開始し、その後医療機関に入院したが、死亡した。	130201	90	10～ 29
2021	7	16 ～ 18	被災者は、新型コロナウイルスに感染し、死亡した。	130201	90	30～ 49
2021	7	16 ～ 18	自宅にて倦怠感を覚え、その後発熱し、死亡した。症状発症時期に職場内で感染者が発生しており、業務引継ぎ等で接触があったと確認されている。	170201	90	100 ～ 299
2021	7	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による。被災者が所属する部署において、別の労働者が発熱しPCR検査を受けたところ、新型コロナウイルスの陽性判定となり、同日被災者も発熱したため翌日PCR検査を実施したところ、陽性判定となった。その後容態が悪化し、自宅で死亡した、	30202	90	100 ～ 299
2021	7	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による死亡。発熱症状があり、クリニック受診時にPCR検査を受け、陽性判明。同時期に同じ職場において被災者を除き、7名が新型コロナウイルスに感染。その後、病院へ入院したが、入院先で死亡した。	90101	90	30～ 49
2021	7	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による。当該事業場内で新型コロナウイルスのクラスターが発生し、被災者も発症した。PCR検査を受けた結果陽性判定となり、自宅待機後、その後入院し、約1ヶ月後死亡したものの。	40301	90	30～ 49
2021	7	10 ～ 12	新型コロナウイルス感染症による。のどの痛みを訴え、数日後には喉の痛みは和らいでいた。さらにその後日、体調不良により早退し、翌日のリモート会議に15分間出席。同日従業員が連絡するも応答がないため、異変を感じマスターキーで部屋に入ったところベッドで死亡。新型コロナウイルス感染症が疑われ、後日PCR検査にて陽性が	80109	90	50～ 99

			判明したもの。			
2021	7	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症の感染が後で判明した労働者と出張した際、自動車内の同乗や会議の出席など、長時間を行動を共にしていた。受検したPCR検査により陽性が判明し、数日後38度の高熱があり、容体悪化により、病院に入院して治療を受けたものの、死亡した。	170209	90	300 ～ 499
2021	8	0 ～ 2	被災者はタクシー乗務員として勤務、発熱した数日後自宅で倒れ、翌日に救急車で病院に搬送され入院治療をしていたが、数日後、新型コロナウイルス感染症により死亡したもの。	40201	90	100 ～ 299
2021	8	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による。事業場（建設現場）にて新型コロナウイルス感染者が発生、濃厚接触者である被災者もPCR検査の結果、陽性判明し、入院、治療の後、死亡した。	30209	90	1～9
2021	8	8 ～ 10	新型コロナウイルス感染症による。事業場の入居するビルにてコロナウイルス感染者が複数発生。被災者は自宅にて死亡。	80109	90	10～ 29
2021	8	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染による肺炎によるもの。職場で複数の感染者あり。発熱し、PCR検査により陽性判定、入院し、後日死亡したものの。	130201	90	1～9
2021	8	14 ～ 16	新型コロナウイルス感染症による。勤務地内で接触があった別の労働者が自宅で発熱し、翌日PCR検査を行った結果、陽性反応（中等症II）が見られ入院となった。被災労働者本人は発熱がありPCR検査を実施し、陽性判定となり入院。後日死亡したもの。	80209	90	10～ 29
2021	8	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による。被災者は、店舗（事業場性無し）で勤務していた。同フロア内で勤務していた者が新型コロナウイルス感染症の陽性判定を受け、被災者は自宅待機となった。その後PCR検査を受検し、陽性判定を受けた。さらにその後、症状が悪化し入院、後日死亡した。	170209	90	50～ 99

2021	8	16 ～ 18	新型コロナウイルス感染症による。当該被災者は、現場監督として、病院、社会福祉施設等の現場立ち合いを行っていたが、新型コロナウイルスに感染し、ホテル療養をした後に、入院先の病院で死亡したものの。	30201	90	100 ～ 299
2021	8	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による。令和3年7月に、元請職員が新型コロナウイルスに感染したことから、被災者を含む関係請負人等に対して抗原検査を実施したところ、陰性であったものの、その後、微熱と倦怠感の症状があらわれ、PCR検査で陽性となった。当初は自宅療養をしていたが、症状が悪化し入院。入院加療中であったが、死亡した。	30203	90	1～9
2021	8	8 ～ 10	新型コロナウイルス感染症による。事業所内で新型コロナウイルスの感染者が発生し、濃厚接触者としてPCR検査を実施し陰性となったが、数日後に発熱し、検査で陽性となった。自宅療養後入院し、その後9月上旬に死亡したものの。	40301	90	50～ 99
2021	8	22 ～ 24	新型コロナウイルス感染症による。被災者は、2日間交替勤務を午前8時から午後4時まで行った。その後発熱し、翌日に検査を行って陽性と判明した。同じ休憩室使用している同僚のうち被災者最終出勤日前後の2日間で、3人に発熱症状があり陽性が確認されている。約1週間後に入院し、数日後転院して、9月上旬に死亡した。	11101	90	500 ～ 999
2021	8	2 ～ 4	新型コロナウイルス感染症による死亡災害。被災者は警備員、病院の警備業務を行っていたところ感染したものの。勤務中に症状（咳）が現れ、翌日発熱したことから病院にてPCR検査を受けたところ陽性判定、以降自宅療養を続けていたが、症状が悪化。入院後、さらに、容態が悪化したため別の病院に転院するも病状は改善せず死亡した。	170201	90	50～ 99
2021	8	12 ～ 14	新型コロナウイルス感染症による。訪問介護で利用者宅を8か所巡回し、PCR検査の検体採取の業務を看護師として行っていた。また、以前には事業内において利用者に対して食事介助の業務を行っていた。その後、発熱があり自宅療養していたが、後日入院し、約3週間	130201	90	30～ 49

			後に脳梗塞を発症して、死亡した。			
2021	8	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による。発熱があり、後日新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に係るPCR検査を受検したところ、陽性と判定された。陽性判明翌日から自宅待機、その5日後から入院しており、約1か月後に死亡したものの。	40301	90	100 ～ 299
2021	8	18 ～ 20	新型コロナウイルス感染症による。コロナ陽性者とミーティングを実施。数日後発熱。PCR検査実施して陽性となり療養開始。その後重症化9月上旬死亡。	170202	90	100 ～ 299
2021	8	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による。8月下旬に発熱が認められたため、検査した結果、新型コロナウイルス感染が判明。当日は勤務せずに帰宅したが、その後連絡がなく、9月上旬に死亡した旨、遺族から連絡があったもの。	140201	90	10～ 29
2021	9	18 ～ 20	新型コロナウイルス感染症による。被災者はガスタービン部品の分解と点検工事をするための準備作業に従事していたが、後日新型コロナウイルス感染症の陽性が判明した労働者と現場の事務所でミーティング及び現場における作業を行っていた。熱の症状が出たため、PCR検査を受けたところ、陽性と判定され、自宅待機となったが、その後症状が悪化し、病院に入院したものの、後日、当該感染症による肺炎で死亡した。	30302	90	30～ 49
2021	9	6 ～ 8	新型コロナウイルス感染症による。一度体調不良で早退し、その後の体調不良で欠勤していた。後日入院となり、治療を受けていたが、後日死亡したものの。	40301	90	1～9
2021	9	0 ～ 2	被災者は清掃作業員として朝に同僚4名とともに清掃委託元へ向け社用車で会社を出発し、現地で清掃業務を行った後、夕方に社用車で帰社した。同乗した同僚の中にコロナ感染者が出たことが翌日に判明し、被災者は濃厚接触者として自宅待機となり、後日、陽性反応が出た。その後も自宅療養していたところ、容態が急変し死亡したものである。	150101	90	100 ～ 299

2021	10	16 ～ 18	新型コロナウイルスに感染していた児童の濃厚接触者となり、感染した。医療機関において療養中であったが、新型コロナウイルス感染症により死亡した。	130201	90	1～9
2020	1	16 ～ 18	職場の上司によるハラスメント行為があり、それによって気分障害を発症し自殺したものの。	11709	90	1000 ～ 9999
2020	2	6 ～ 8	屋外において、ペール缶に入れた木材を燃やすことで暖を取っていたところ、火が被災者に燃え移り、被災したものである。なお、被災して5日後に死亡した。	80109	11	1～9
2020	2	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症により死亡したものの。	80209	90	1～9
2020	3	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症により死亡したものの。	80409	90	100 ～ 299
2020	3	18 ～ 20	新型コロナウイルス感染症により死亡したものの。	11509	90	10～ 29
2020	3	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症により死亡したものの。	130201	90	10～ 29
2020	3	10 ～ 12	新型コロナウイルス感染症により死亡したものの。	130201	90	50～ 99
2020	3	4 ～ 6	新型コロナウイルス感染症により死亡したものの。	30209	90	30～ 49

2020	3	16 ～ 18	新型コロナウイルス感染症により死亡したもの。	170101	90	300 ～ 499
2020	3	12 ～ 14	新型コロナウイルス感染症により死亡したもの。	120109	90	1000 ～ 9999
2020	4	12 ～ 14	新型コロナウイルス感染症により死亡したもの。	30199	90	30～ 49
2020	4	10 ～ 12	新型コロナウイルス感染症により死亡したもの。	170209	90	10～ 29
2020	4	10 ～ 12	新型コロナウイルス感染症により死亡したもの。	40201	90	50～ 99
2020	4	12 ～ 14	新型コロナウイルス感染症により死亡したもの。	90109	90	10～ 29
2020	4	18 ～ 20	新型コロナウイルス感染症により死亡したもの。	170209	90	10～ 29
2020	4	0 ～ 2	派遣先事業場を巡回して労働者の出勤状況等を管理していた者が発熱し、体調が悪化して入院治療を受けたが、発症から14日後に肺炎にて死亡したもの。	170101	90	100 ～ 299
2020	4	10 ～ 12	新型コロナウイルス感染症により死亡したもの。	40301	90	100 ～ 299

2020	4	16 ～ 18	新型コロナウイルス感染症により死亡したもの。	10901	90	10～ 29
2020	4	16 ～ 18	新型コロナウイルス感染症により死亡したもの。	130101	90	100 ～ 299
2020	9	16 ～ 18	発電により発生した排ガスと石灰を化学反応させて、硫黄分を取り除くための設備である吸収塔の液室内部の清掃作業を行っていた際に、建屋上部に付着していた石膏スケールが高さ8m以上の箇所から被災者の頭部に落下したもの。	30309	4	30～ 49
2020	9	8 ～ 10	冷凍鮪を加工する加工室において、冷凍鮪の血合い等を除去するグラインダー（整形機）で作業していた被災者は、隣で作業をしていた労働者から暴行を受け、突き飛ばされた勢いで、作業していたグラインダーの刃に、首から肩にかけ接触し頸部損傷し意識不明のまま入院していたが、後日死亡したもの。	10102	90	50～ 99
2020	10	0 ～ 2	作業時に山林等に立ち入った際に、病原体（リケッチア）を保有するマダニに咬まれ日本紅斑熱を発症し、その結果敗血症性ショックにより死亡したもの。	30202	90	10～ 29
2020	10	12 ～ 14	病院より当該事業場に連絡があり被災者と至急連絡を取りたいが電話がつながらないとのこと。社員が自宅を訪問したが様子がおかしいため管理会社へ連絡して鍵を開けてもらい室内に入ったところ、被災者はすでに息をしておらず、救急車を手配したが死亡が確認された。病院は被災者が2日前の昼頃受診した結果を伝えようとしていた。	40201	90	100 ～ 299
2019	1	14 ～ 16	搬送先で積み荷を降ろし、次の搬送先に向かう途中、過重労働によりくも膜下出血を発症し、倉庫壁面に接触しながら停車していた乗用車に追突した。病院に搬送されたが、翌日死亡した。	40301	90	10～ 29
2019	2	12 ～	被災労働者は、施設内で職務を行っていたところ、侵入してきた同施	130201	90	30～

		14	設の元入所者に刺されたことにより死亡したものである。			49
2019	9	8 ~ 10	工場内において、吸収式冷凍機の製造工程で、T字レンチでビスカバーのナット締め作業中に、何らかの理由により後方に倒れ、床面（厚さ25mm~28mmの鋼板）に後頭部を強打した。なお、ヘルメットはしていたものの、あごひもは締めておらずヘルメット内側にしまわれており、倒れるのと同時に、外れてしまったもの。	11402	2	300 ~
2019	10	12 ~ 14	養豚場内にある豚の餌を入れるためのタンクの残量を確認するため高さ5.1メートルのはしごを登ったところ墜落したもの。墜落後は意識はあったが、後日左肘の裂傷から感染症による左腕の壊死が始まり、その翌日に死亡が確認された。	70101	8	10~ 29
2019	10	22 ~ 24	施設内詰所において業務中、同僚にナイフで刺された。	150101	90	10~ 29
2019	11	10 ~ 12	営業職として業務に従事していた被災者が出勤前に自宅で倒れ、搬送先の病院において急性心筋梗塞により死亡したもの。	90201	90	1~9
2018	6	14 ~ 15	小学校の耐震工事現場において、交通誘導をしていた労働者が、現場近くの交番に押し入り拳銃を奪った加害者に銃撃され被災したもの。	170201	90	50~ 99
2018	8	14 ~ 15	土砂災害で走行不能となった自動車を指定の場所へ搬送するため、レッカー車へ積み込む作業を2名で行っていた。自動車のタイヤには土砂が堆積していたため、被災者はスコップを用いて、取除き作業を開始した。作業開始から10分程度経過した頃、被災者は息切れが激しくなり、車内で休むため、車へ移動する途中で、倒れ意識を失った。病院へ搬送されたが、意識は戻らず死亡した。	80409	90	1~9
2018	8	6 ~	ダンプトラックで土砂を運搬中、休憩のためパーキングエリアに入ろうとしたところ、他のトラックに追突した。病院に搬送されたが、後	40302	90	1~9

		7	日死亡した。			
2018	9	10 ～ 11	被災者は、工場内でプレスブレーキを使用して金属部品を加工する作業を行っていたが、途中で工場を出た。しばらくして、事業者が敷地内にあるトイレに向かったところ、敷地内にある建物の玄関前で倒れている被災者が発見された。	11203	90	1～9
2016	1	14 ～ 15	1月21日から22日にかけて、温泉バイナリー発電設備の冷却棟内部の清掃を行った。22日作業中に激しく咳き込み、一時、作業ができなくなった。その後病院を受診し、診断の途中でレジオネラ菌による肺炎であることが疑われ、治療を行ったが、容態が急変し、死亡した。	30309	90	10～ 29
2015	1	16 ～ 17	浴室改装工事で、左手に木材、右手に携帯用丸のこ盤を持って引き割り作業をしたところ、携帯用丸のこ盤がぶれ、左手人示指を切断した。左示指切断、創傷感染症、破傷風の疑いで通院により創処置していたが、災害から24日後に破傷風のため入院し、災害から32日後に死亡した。	30202	90	1～9
2015	1	23 ～ 24	事業場で設置している寄宿舍の1階管理人室の中央付近からの出火により火災が発生し、鉄骨造2階建の建物346平方メートルが焼け、その際、管理人室で寝ていた被災者が逃げ遅れて焼死した。	30201	16	100 ～ 299
2015	5	17 ～ 18	被災者は養豚場にて就労する技能実習生。5月4日にトイレで倒れ意識を失っているところを発見される。救急搬送されるも重症化し5月18日死亡。当人は本国にて脾臓を摘出しており、免疫機能が低下しているところ、家畜由来の病原菌に感染し、敗血症により死亡したとの病院による診断が出ている。	70101	90	1～9
2014	2	1 ～ 2	被災者は、海外ツアーに添乗し帰国。帰国翌日に出社。出社後、宿泊先で体調が急変し、死亡した。尚、宿泊した翌日は、国内ツアーに添乗予定であった。	170101	90	30～ 49
		3	被災者は、自宅前の公園の桜の木にて、ビニールテープを用い縊死した。業務による出来事として、継続的に「バカ、クズ」と言われてい			

2014	2	～ 4	た。また、店長が「店にある期限付き商品の全ての期限切れチェックを、毎日の業務以外の時間に一人で行うように」と指示していた。	80209	90	1～9
2014	2	15 ～ 16	被災者は、施設入居者と相談の約束があったため、部屋を訪れたところ、刃物で首を切りつけられ、搬送先の病院で死亡した。	130201	90	10～ 29
2014	3	23 ～ 24	トラック乗務中、港からフェリーに乗船し、仮眠をとっていたところ、意識を失っているところを発見され、死亡した。	40301	90	1～9
2014	4	17 ～ 18	壇上でスピーチを行っていたところ、倒れ、急性大動脈解離で死亡した。	80109	90	10～ 29
2014	6	12 ～ 13	建造中のケミカルタンカーの船首側の船底にて、被災者が作業を行っていたところ、作業服に引火し、死亡した。	11501	16	1～9
2014	8	0 ～ 1	建設工事のための寄宿舍にて、深夜に火災が発生し、被災者他4人が死亡した。出火場所は2階の物入れで、ゴミなどが置かれていた。	80209	16	10～ 29
2014	8	0 ～ 1	建設工事のための寄宿舍にて、深夜に火災が発生し、被災者他4人が死亡した。出火場所は1階の物入れで、ゴミなどが置かれていた。	80209	16	10～ 29
2014	8	0 ～ 1	建設工事のための寄宿舍にて、深夜に火災が発生し、被災者は火傷を負い、入院先にて死亡した。	30199	16	10～ 29
2014	8	0 ～ 1	建設工事のための寄宿舍にて、深夜に火災が発生し、被災者他4人が死亡した。出火場所は2階の物入れで、ゴミなどが置かれていた。	30199	16	10～ 29
		0				

2014	8	1	建設工事のための寄宿舍にて、深夜に火災が発生し、被災者他4人が死亡した。出火場所は1階の物入れで、ゴミなどが置かれていた。	30199	16	10～ 29
2014	9	14 ～ 15	トイレ内にて、被災者が倒れているのを発見された。	170202	99	300 ～
2013	2	13 ～ 14	被災者は、トラクター・ショベルを運転し、高さ約7メートル勾配90度のたい肥堆積物を採取していたところ、約10立方メートルのたい肥が落下、同たい肥の直撃を受け死亡したと推測される。	70101	4	30～ 49
2013	11	8 ～ 9	沖合に仕掛けていた大敷き網に体長約5.6メートルのミンククジラが入り込んでいたため、クジラの引き揚げ作業中、クジラの尻尾にロープを掛けてローラー（ウインチ）で網からクジラを引き揚げようとした際、クジラが暴れ出し、傍にいた被災者の頭部にクジラの尾びれが直撃した。	70201	6	30～ 49
2013	3	16 ～ 17	カキ打ちを終え、作業場の掃除をしていたところ、その日、休んでいた中国人研修生が急に2階から降りてきて、手に持っていた包丁やスコップで次々と同僚を殴りつけた。同僚が次々と襲われている間に外へ出て逃げたが、道路の中央で追いつかれ、頭部をスコップで何度も殴られ死亡した。	70209	90	10～ 29
2013	5	14 ～ 15	家電リサイクル品の回収中、右膝に「擦り傷」を負った。その後、従業員が被災者のうめき声を聴き、様子がおかしい被災者を発見し、救急搬送したものの、「腸腰筋膿瘍、壊死性筋膜炎」により死亡した。	40301	90	10～ 29
2013	6	10 ～ 11	部品等の配送のためトラックを運転し、ジャンクション付近を走行していた被災者は、脳出血により死亡し、車は道路左側の路肩に乗り上げ横転した。	40301	90	10～ 29
2013	8	11 ～ 12	精神科を受診した男性が、診察にあたった精神科医師を包丁で刺し、この医師を殺害した。	130101	90	100 ～ 299

2012	7	1 ～ 2	県道脇にて歩道に乗り上げて止まっているタクシーの運転席で、上半身血まみれで死亡している被災者が発見された。	40201	90	50～ 99
2011	3	13 ～ 14	荷卸・積込作業を行っていたが、午後の連絡で手足がしびれると訴えがあり、救急車を手配して病院に搬送された。脳幹部出血を起こしており、翌日死去した。	40301	90	50～ 99
2011	9	1 ～ 2	路上をタクシーでゆっくり走行していたところ、通りかかった男に呼び止められ声を掛けられ窓を開けたらボンネットを叩いたり蹴ったので窓を閉めたが、男がドアを開け、車から引きずり降ろされ殴られる等の暴行を受け被災したものの。	40201	90	50～ 99
2011	5	5 ～ 6	被災者は朝6時頃、委託先の厨房へ出勤し、本社へ出勤の電話連絡を行った際に脳梗塞を発症したものの。	10109	90	1～9
2011	9	11 ～ 12	市内のスーパーの駐車場前歩道で、交通誘導警備業務中、突然通り魔に刃物で腹部など複数箇所刺され、病院へ搬送されたが同日死亡した。	170201	90	50～ 99
2011	2	9 ～ 10	2月2日に伐倒したカラマツをブルドーザーを用いて作業道へ引き上げる作業を行っていた被災者が、重機付近で倒れているのを同僚らが見つけ、その後、巡回に来た社長が救急車を呼び人口呼吸と心臓マッサージを行ったが、出血多量により死亡した。	60209	90	1～9
2010	12	9 ～ 10	被災者は、工場内において、天井クレーンで塗装作業用の作業台を吊っていた。作業台を所定の位置に設置後、作業台のバランスが崩れ、作業台が被災者に激突し、死亡したものの。	11209	6	30～ 49
2010	8	13 ～ 14	事業場敷地内において、シバザクラを植えている傾斜が33度ある斜面の草引きを被災者を含む労働者3名で行っていた。被災者は、作業指揮者から水路の底から生えている木が水路上にある通路に覆い被さり、歩行の邪魔となっていたことから、通路面の高さまで刈るように指示され、この木を刈っていたところ、キアシナガバチに右手を刺さ	10102	90	300 ～ 499

			れ、アナフィラキシーショックにより死亡したものの。			
2010	8	10 ～ 11	早朝より被災者を含む4人で刈払機を使用した草刈りを開始した。2時間ほどして被災者は同僚に蜂にさされたことを告げて休憩した。約30分後、担当場所にもどる被災者を同僚が目撃した。その30分後、担当場所で被災者が蜂に刺されによる「アナフィラキシーショック」で倒れ死亡しているのを同僚の作業員が発見した。	60209	90	1～9
2010	5	2 ～ 3	被災者の運転する車両の無線から異音が発せられたことに無線センターの運行担当者が気づき、被災者と連絡を取ろうとしたが取れないため、同僚を現場に向かわせたところ、運転席付近から煙が出ている被災者の車両を発見したが、車両内には被災者は見あたらず、無線センターから警察及び消防に通報。警察が周辺捜索により、被災者の車両のトランク内で、首に切り傷を負って死亡している被災者を見つけたもの。売上金がなく、料金メーターの精算ボタン押されていたことから、被災者は料金を精算中に乗客から強盗目的により襲われ殺害されたと推測される。	40201	90	100 ～ 299
2010	4	21 ～ 22	海外の市街地において、デモ隊と治安部隊との反政府デモの取材中、何者かが発砲した銃弾を受け、胸に当たり失血死したものの。	170209	90	300 ～
2010	3	3 ～ 4	木造3階建ての一軒家を賃借し、当該方面の工事現場に労働者を出張させたときの宿泊施設として使用していたところ、この建物の1階から煙草の火の不始末により出火して火災になり、宿泊していた労働者1名が一酸化炭素中毒で死亡、1名は両足に、1名はのどを負傷した。	30302	16	10～ 29
2009	2	7 ～ 8	事業場内で自殺しているのが発見された。	10401	90	30～ 49
		13	豚舎において、給餌作業を行っていた被災者が豚舎横に設けられた餌貯蔵用のサイロのわきで仰向けに倒れているところを同僚が発見し			

2009	2	～ 14	た。同日、搬送先の病院において死亡が確認された。当時、被災者は一人で作業を行っており被災時の状況を目撃した者はいなかった。	70101	90	1～9
2009	6	16 ～ 17	事業場内車両整備場で点検作業中に倒れていたのを発見された。その後、死亡した。	40301	90	10～ 29
2009	7	21 ～ 22	タクシー運転業務中、駅で乗客を乗せて目的地に向かう途中、その乗客が所持していた拳銃により、被災者が車内で撃たれ、銃弾が貫通したことにより死亡した。	40201	90	30～ 49
2009	10	2 ～ 3	事務所兼寄宿舍（木造2階建て）において、2階の被災者の寝室から出火し、同室を中心に部分焼失した。消防による消火後、同室内にて、本人と思われる遺体が発見された。	30199	16	30～ 49
2009	6	17 ～ 18	海外の原材料仕入れ先事業場へ技術指導のために出張中、当該事業場で火災が発生し、これを通報するため宿泊施設に携帯電話を取りに行った後、宿泊施設近くで倒れているところを発見された。検視で暴行を受けたと推測される傷が認められているが、怨恨関係等は確認されていないこと、現地の治安が悪いこと等から業務に通常伴う危険が具体化した。	11709	90	1～9
2009	3	3 ～ 4	事業場は、鉄骨造平屋の工場棟とその東側一部に鉄骨造3階建の事務所と寄宿舍設備で構成されていた。建屋の2階事務所内より出火し、建屋2階及び3階、更に工場棟の屋根一部が焼失した。当時3階にて就寝していた作業員6人が出火に気付き、全員が3階窓から飛び降りた際、うち1人が死亡（他の5人は負傷）した。	11209	16	30～ 49
2009	1	2 ～ 3	被災者は事業場内で倒れ、病院に搬送された。搬送先の病院で死亡した。	130201	90	50～ 99
2009	5	4 ～	運転業務中に心停止となり、交通事故を起こした。	40301	90	1～9

		5				
2008	4	2 ～ 3	タクシー乗務中の被災者が、客を乗せ20分ほど走行したところで停止を命じられたため路肩に停止したところ、客が準備していたナイフで被災者を刺殺した。	40201	90	50～ 99
2008	3	10 ～ 11	被災者は、家具配送業務中に配送先のマンションで同僚とベッド、デスク等の家具の搬入を終え、組立作業に取り掛かろうとしたところ、急に気分が悪くなったため、病院へ搬送され死亡した。	80203	90	10～ 29
2008	6	9 ～ 10	出張中先での朝礼中、突然転倒して救急車で病院に搬送されて死亡した。	11301	90	300 ～
2008	10	6 ～ 7	被災者は、工場内において自動車付属部品であるオイルパンの溶接及び組立等の作業を行っていた。その際、気分が悪くなったため休憩所で休んだが容態が回復しないので会社近くの病院で治療を受けた後に帰宅した。その後、別の病院に救急搬送され、死亡した。	11502	90	50～ 99
2008	6	9 ～ 10	動物園の獣舎内（トラの寝室）で飼育員がトラにかまれた。	70101	90	30～ 49
2008	10	12 ～ 13	被災者は、海外で変電器他販売に関する打ち合わせと現地調査等を行った。その後、変電所に通い、現地業者との打ち合わせを実施中に具合が悪くなり病院で投薬を受けた。別の病院へ搬送後、死亡した。	11401	90	300 ～
2007	7	2 ～ 3	被災者は、店から客を乗せ出発したが、帰社予定時間に戻らず、連絡も取れなかったため、同僚がタクシーの行き先付近を捜した。付近の工業団地の東側の駐車場で被災者が遺体で発見された。	40201	90	50～ 99
2007	1	4 ～ 5	被災者は、積荷を運送するため大型トラックを運転し、国道を東行きに走行していたところ、運転中に意識を失い、片側2車線の緩い左カーブで、ガードレールに接触後、約100mほど走行して停車した。被災者は発見時に意識がなく、病院で死亡した。	40301	90	10～ 29

2007	10	12 ～ 13	コンビニエンスストア内で万引きした2人組の男が逃走し被災者が追跡した。店から南に約160m離れた国道上で被災者は男の一人に刺されて死亡した。	80201	90	10～ 29
2007	7	21 ～ 22	被災者は商談のため出張していた。商談が終わり、駅に向かおうとして道路わきのチェーン付の柵をまたごうとしたところ、チェーンに足がひっかかり前のめりに転倒した。すぐに立ち上がったが、その後、直立のまま後ろ向きに転倒した。	90103	2	100 ～ 299
2007	2	17 ～ 18	福祉施設において、感染症に感染したと思われる入居者5名の嘔吐物进行处理し、さらにトイレ介助並びにおむつ交換を行った。翌日、嘔吐、下痢の症状が出たため、病院に搬送されたが、死亡した。	130201	90	50～ 99
2007	3	8 ～ 9	被災者は、ビルメンテナンス現場で、ぐったりとしている状態で発見され、その後死亡した。	150101	90	10～ 29
2007	2	8 ～ 9	建設コンサルタント業の技術職として、出張し、業務に従事していたところ、宿泊先ホテルの客室で死亡しているのが発見された。発病の前一月の時間外労働は長時間で休日出勤も多い状況にあった。	170209	90	300 ～ 499
2007	4	14 ～ 15	映画の宣伝・配給の業務をしていたが過度な仕事量と責任、労働時間であったため不眠などの症状がみられたので、業務量が軽減されたがその後、別会社へ出向したところ労働時間が増え、休日出勤も増えて強い心理的負荷を受けビルの屋上から飛び降りた。	100101	90	10～ 29
2007	1	21 ～ 22	事務所で具合が悪くなり突然倒れ、救急車で病院へ搬送されたが死亡した。	130201	90	10～ 29
2007	6	16 ～ 17	被災者は、業務終了後トイレに行き、戻ってきたとたんに気分が悪くなり救急車で病院に運ばれたが、死亡した。	40301	90	1～9
		3	被災者は仕出し弁当の製造、配達を行う事業場の店長であるが、当日			10～

2007	1	4	～	は午前3時30分ころ厨房のオープンの前で倒れているところを発見され、病院で死亡した。死亡前半年間の残業は長時間であった。	80409	90	29
2007	9	2	1	被災者はタクシーの運転手で加害者（乗車客）を乗車させ、道路に出て走行していた。乗車中、加害者とトラブルとなり、車中で暴力を受け、病院に搬送されたが死亡した。	40201	90	50～ 99
2007	3	8	7	駅西口で倒れているところを他社のタクシー乗務員に発見された。	40201	90	100 ～ 299
2006	1	23	22	被災者は、単身赴任で勤務していたが、自宅へ家族が運転する自家用車で移動中に車内で不調を訴え、死亡した。	11502	90	300 ～
2006	4	8	7	冷凍魚の製造工場では被災者は冷凍機械の保守管理の業務に従事していたが、夜勤明けで交代する際に交代のため入室した労働者に倒れているのを発見された。被災者は病院に搬送されたが、意識を回復することなく死亡した。	10102	90	10～ 29
2006	3	1	0	営業活動中に昼食のために入った食堂のトイレで倒れた。	30202	90	1～9
2006	6	7	6	被災者は自宅で死亡しているところを発見された。	170209	90	300 ～
2006	1	15	14	スーパー開設事務所内で備品搬入のため待機していた被災者が、床に倒れているのを備品納品に訪れた運送会社運転手に発見された。呼び掛けに反応がなく、嘔吐も認められた為、救急車で病院に搬送したが、死亡した。	80201	90	1000 ～ 9999
2006	4	～	4	自宅2階の寝室で就寝中に突然、息を荒げたところを家族に発見され、直ちに救急車で病院に搬送されるも、同日死亡した。	10702	90	10～ 29

		5				
2006	4	18 ～ 19	電気温水器の取り替え工事において、同僚と2人で、約60キロある電気温水器をもって階段の上がり下りを繰り返した。被災者は痛みを訴え、自ら救急車を呼んで、病院に搬送されたが、死亡した。	30301	90	1～9
2006	6	9 ～ 10	タケノコ（チシマザサの若芽）を採りに山中に入った被災者が、熊に襲われ死亡した。	140101	90	1～9
2006	2	23 ～ 24	建設業附属寄宿舍の同室に居住している2名が休日のため外出し、飲食店で飲酒した後帰舎し就寝、まもなく自室から出火、消火するも延焼し1名は死亡した、他の1名は火傷を負った。また、階下にいた者が寝入っており死亡した。	30202	16	10～ 29
2006	2	23 ～ 24	建設業附属寄宿舍の同室に居住している2名が休日のため外出し、飲食店で飲酒した後帰舎し就寝、まもなく自室から出火、消火するも延焼し1名は死亡した、他の1名は火傷を負った。また、階下にいた者が寝入っており死亡した。	30202	16	10～ 29
2005	12	20 ～ 21	客を装って乗車した第3者に絞殺された。	40201	90	1～9
2005	6	12 ～ 13	発熱のため自宅で安静にしていたところ、意識不明の状態に陥り、死亡した。	80202	90	10～ 29
2005	4	10 ～ 11	工事看板を持って移動中に、突然しゃがみ込み、そのまま倒れた。	30209	90	30～ 49
2005	1	4 ～ 5	自宅で就寝中、子供が夜泣きをしたため起床し、あやしていたところ突然倒れた。	170209	90	300 ～ 499

2005	7	11 ～ 12	産業廃棄物処理場内の調整池から流れ出す水の水質管理をしていた被災者が、当該池にボートで入った際、水中に転落した。	150102	10	10～ 29
2005	6	9 ～ 10	工事現場の事務所で打合せ中に突然倒れ、搬送された病院で、死亡した。	30201	90	10～ 29
2005	3	6 ～ 7	仕込倉内にある円筒形醸造用タンク（直径2.3m、高さ3m）上で、分析用の試料を採取しようとして1人で作業していたところ、タンク開口部(直径75cm)から内部に墜落し、溺れた。	10105	10	10～ 29
2005	6	4 ～ 5	馬運動場において馬の引き運動中、馬が突然後ろにさがり、被災者が蹴られた。	70101	6	10～ 29
2005	10	8 ～ 9	開園準備のためクマを飼育舎から屋外の展示場所へ移動させる作業中に、クマに襲われた。	140302	90	100 ～ 299
2005	2	3 ～ 4	自宅で就寝中、呼吸停止した。	80209	90	10～ 29
2005	8	0 ～ 1	海外にプロジェクトチームのリーダーとして現地出張していた被災者が、感染症で発病した。	170209	90	100 ～ 299
2005	2	9 ～ 10	タクシーの待機場所にて配車の指示を待っていたところ、車内で意識を失った。	40201	90	50～ 99
2005	3	22 ～ 23	2階建て寄宿舎において、部屋内で火災が発生し、2階にいた被災者が逃げ遅れた。	30209	16	1～9

2005	3	18 ～ 19	野菜のカット加工業務で、野菜を入れるプラスチックのコンテナの箱を洗浄作業中、倒れた。被災者は、発症前に長時間の時間外労働を行っていた。	10109	90	50～ 99
2005	1	2 ～ 3	帰宅後、自宅の風呂場で意識を失った。	10701	90	10～ 29
2005	1	0 ～ 1	昼食のために立ち寄った飲食店内で倒れた。	80409	90	1～9
2005	1	20 ～ 21	勤務開始前の時間に、勤務先のエレベーターホールで倒れた。	150101	90	300 ～ 499
2005	8	2 ～ 3	自宅において就寝中に具合が悪くなり、救急車で病院に搬送されたが、死亡した。発症前1カ月間の時間外労働が長時間に及んでいた。	30209	90	1～9
2005	3	12 ～ 13	タクシー乗務中に倒れ、病院に搬送されたが、死亡が確認された。発症前4ヶ月間の平均時間外労働が長時間に及んでいた。	40201	90	300 ～ 499
2005	1	0 ～ 1	事務所内において勤務中、同僚の作業者に包丁で刺された。	40301	90	30～ 49
2005	1	5 ～ 6	被災者が詰所内で強盗に遭遇し、殺された。	40302	90	1～9
2004	11	10 ～ 11	事務所において打合せ中に突然倒れ、死亡した。	170209	90	1～9

2004	6	15 ～ 16	電気室内において、制御盤の部品の取付作業を行っていたところ、体調が悪くなり病院に搬送された。	11403	90	10～ 29
2004	2	13 ～ 14	出勤途中に体調が悪くなったため、入社後病院で受診し、その後会社へ戻った。翌日、工場内の通路に倒れているところを、出勤してきた同僚に発見されたが、既に死亡していた。	11301	90	30～ 49
2004	6	8 ～ 9	休日出勤にて入社した直後、急に体調不良となり救急車で病院に搬送されたが死亡した。	170209	90	1～9
2004	12	17 ～ 18	工場内で粉殻を灰にするための釜（高さ2m、直径2.3m）の上で、A重油に浸して丸めた新聞紙にライターで火をつけ、釜の中央にある筒状の煙突から投げ入れる作業中、体のバランスを崩して、着衣に引火した。	170209	11	1～9
2004	9	18 ～ 19	住宅新築工事現場にて作業中、他の作業者が被災者にバールで襲い掛かり、死亡させた。	30202	90	1～9
2004	5	15 ～ 16	フレートセンター構内において、荷卸しの順番待ちをしていたところ、体調不良を訴えたため救急車で病院に搬送されたが、死亡した。	40309	90	10～ 29
2004	1	13 ～ 14	自動車で営業活動に出かける途中、国道沿いの歩道境ブロックに接触して停車しているところを発見され、救急車で病院に搬送されたが、死亡した。	30203	90	30～ 49
2004	4	23 ～ 24	中古自動車オークションに出品される車両の現況調査業務を行っていたところ、気分が悪くなり、救急車で病院に搬送され死亡した。	80202	90	1～9
2004	2	4 ～	朝、自宅において倒れた。	80209	90	10～ 29

		5				
2004	3	22 ～ 23	朝、自宅にて被災者が起きてこないため家族が様子を見に行ったところ死亡していた。	11502	90	50～ 99
2004	2	3 ～ 4	深夜に帰宅し、就寝中に苦しそうな声を出して嘔吐し、病院へ救急車で搬送された。	80109	90	30～ 49
2004	2	13 ～ 14	パソコンサポートカウンターにおいてアルバイトに対する稼働計画を作成中、床に倒れ意識を失った。	80101	90	50～ 99
2004	3	19 ～ 20	客1人をタクシーに乗せ、市道上で停車して降ろそうとしたとき、同客が売上金を奪う目的で、被災者を包丁で刺した。	40201	90	50～ 99
2004	3	15 ～ 16	勤務を終え、帰宅し、着替えていたところ、倒れた。	10701	90	50～ 99
2004	1	12 ～ 13	業務終了後、帰宅するため更衣室において着替えていた際、突然倒れて意識不明となり、救急車にて病院へ搬送された。	11209	90	50～ 99
2004	3	11 ～ 12	鉄道の軌道修繕工事に作業責任者として就労していた被災者が倒れた。	30104	90	1～9
2004	2	0 ～ 1	店舗巡回のため、電車に乗っていたが、目的の駅を乗り過ぎてしまったので下車し、反対ホームに行ったところプラットフォーム上で倒れた。	80201	90	100 ～ 299
2004	3	10 ～	自動車を運転し営業先に向かう途中、体調不良を訴えたため、病院に搬送されたが、死亡した。	150103	90	100 ～

		11				299
2004	1	20 ～ 21	社内において顧客と打ち合わせが終了後、自席に戻ったが、気分が悪くなり、救急車で搬送された。	170209	90	1000 ～ 9999
2004	3	7 ～ 8	出社のため起床し、着替えをしていたところ、体調が悪くなったため、救急車で運ばれ、搬送先の病院で死亡した。	80209	90	10～ 29
2004	8	8 ～ 9	店舗開店準備のため応援で出張中、体調が悪くなり、病院で死亡した。	170209	90	300 ～ 499
2004	5	22 ～ 23	天井クレーン運転中、運転室内で倒れた。	11009	90	50～ 99
2004	5	7 ～ 8	前日からの勤務を終え午前8時頃に帰宅したが、翌日は体調不良のため欠勤し、さらに次の日の朝、自宅の寝室で妻が起こしに行ったところ、死亡していた。	170209	90	1000 ～ 9999
2004	5	13 ～ 14	うつ病により休業していたところ、静養先にて自殺を図った。	11409	90	10～ 29
2004	3	21 ～ 22	普通乗用車で国道を走行していたところ、突然うめきだし、意識を失った。	120109	90	50～ 99
2004	1	7 ～ 8	出張先（海外）の宿泊施設の浴室内で、都市ガスにより一酸化炭素中毒となった。	11403	12	100 ～ 299
2004	9	12 ～	仕事から帰宅し食事をしていた時、突然嘔吐しながら倒れこんだ後、意識を失った。	40301	90	1～9

		13				
2004	3	21 ～ 22	自動車にて走行中、工事のため設置されていた単管パイプでできたバリケードに衝突した際、この単管パイプが車の前部を突き抜け、運転席まで貫通し、被災者に当たった。	170209	17	30～ 49
2004	3	1 ～ 2	過重な業務が続き、自宅寝室で就寝中、死亡した。	10102	90	10～ 29
2004	6	9 ～ 10	研修日に会議室に入った途端、倒れた。	11403	90	300 ～ 499
2004	7	3 ～ 4	トラッククレーンで国道を走行中、意識不明となった。	40301	90	10～ 29
2004	2	10 ～ 11	仕事の繁忙期に入り残業や休日出勤が増加した結果、体調が悪くなり、病院に行き診療を受けていたところ、症状が悪化して死亡した。	170202	90	30～ 49
2003	11	8 ～ 9	トラックで荷卸して走行中、過重労働による心筋梗塞を発症し、蛇行運転になり横から追い越してきた路線バスの後方に追突した。	40302	90	10～ 29
2003	11	5 ～ 6	ホテルの夜間フロント係が、夜間の巡回中に元同僚に刃物で刺された。	140101	8	50～ 99
2003	8	15 ～ 16	仕事の合間に銭湯で入浴中に、腫瘤が破裂して倒れ病院に移送されたが9日後にくも膜下出血で死亡した。	40201	90	10～ 29
2003	8	8 ～	背負い式動力枝打機で枝打作業中、枝打機のスロットルレバーに小枝等の障害物が触れたため、鋸刃が回転して右手第2指末関節から完全切	60209	90	10～

		9	断をしたので、治療していたところMRSA腸炎、肺炎、敗血症などのため死亡した。			29
2003	7	13 ～ 14	朝から通常どおりコンクリート二次製品の製造作業を行っていたが、長時間労働等により午後4時30分頃くも膜下出血を発症し倒れた。	10901	90	10～ 29
2003	7	8 ～ 9	足に痺れを感じて病院で足の治療を受け、2日後に再度診察を受けたところMRI検査により「脳梗塞」と診断され、入院治療を行っていたがトイレで倒れて死亡した。	130102	90	1～9
2003	7	7 ～ 8	廃棄物の収集運搬作業中に、スーパーの廃棄物置場付近で倒れているところを発見され病院に運ばれたが死亡した。	150102	90	1～9
2003	7	15 ～ 16	刈払機で下草刈作業を行い、午後からは別の現場で炎天下の中同僚2名と同じ作業を行っていて、気分が悪くなったので休憩をとったが、休憩中に胸の痛みを訴え意識を失い急性心筋梗塞で死亡した。	60209	90	30～ 49
2003	6	1 ～ 2	出張を終了して帰宅後、頭痛、吐き気を訴え倒れ、救急車で病院へ搬送されたがくも膜下出血で死亡した。	170209	90	1～9
2003	6	5 ～ 6	中央市場の水産棟卸売場において、セリ人に付いて記帳している最中に気分が悪くなったのでセリ場を離れて休んでいたが、やがて倒れこんで意識がなくなりくも膜下出血により死亡した。	80101	90	50～ 99
2003	5	4 ～ 5	病院の廊下で患者を誘導中、患者の粗野な言動により口論となり、患者が所持していた果物ナイフで左胸部を刺された。	130101	90	100 ～ 299
2003	5	19 ～ 20	事業所内の洗車場所で、配回送の終わったレンタカーの洗車や車内清掃を終えて同僚と立ち話をしていたときに、事業所とレンタカーの貸し借りをめぐりトラブル関係にあった加害者がやって来て刃物で刺された。	80409	90	10～ 29

2003	5	15 ～ 16	木造住宅の上棟式を終えて、別の施主のところに乗用車で図面をとり に行く途中、右カーブを曲がりきれずに約2.3m下の用水路に転落し た。	30202	18	10～ 29
2003	4	8 ～ 9	自宅で、朝起きてこないことから妻が起こしに行ったところ、急性心 筋梗塞で死亡している夫を発見した。	30201	90	30～ 49
2003	4	17 ～ 18	訪問先で対応中に気分が悪くなり、近くの病院で治療を受けたのち迎 えの家族とともに帰宅したが、再び気分が悪くなったので救急車で緊 急入院し検査中に意識がなくなった。	110101	90	100 ～ 299
2003	4	23 ～ 24	2か月間の時間外労働時間数の平均が約131時間に及ぶ恒常的な長時間 労働が著しい疲労の蓄積をもたらし、会社主催の研修先で脳出血のた め死亡した。	30301	90	1～9
2003	3	22 ～ 23	事業場において閉店の準備中に過重労働により突然倒れ、病院で死亡 した。	170209	90	10～ 29
2003	3	6 ～ 7	荷物を運ぶ途中のトラックの中で意識を失って対向車と接触して停車 し、対向車の運転手が意識を失っているのを発見して消防署に連絡し た。	40301	90	10～ 29
2003	2	15 ～ 16	病院で通院患者が事務室に乱入し、銃で殺害された。	130101	90	100 ～ 299
2003	2	12 ～ 13	キノコの収穫、包装作業に従事していた者が入社後しばらくして咳き 込み始め、他の社員であれば1～2ヶ月すると環境にも慣れるのに、さ らにひどくなり続けてキノコ孢子によるアレルギー性疾患により死亡 した。	60101	90	10～ 29
2003	2	19 ～	顧客先の受付で退社の手続き中に一時的に意識を消失し、入院検査し たが異常が見られなかったため2日後に退院手続きをしていたときに、	120102	90	50～ 99

		20	仰向きに倒れ意識不明となった。			
2003	2	15 ～ 16	調理室で、同僚と惣菜用のたまねぎ等を切っていたときに突然倒れ意識不明となった。	80201	90	10～ 29
2003	2	22 ～ 23	昇進・異動等による仕事内容・責任の変化、単身赴任による孤独感などのため山林内で、首つり自殺しているのが発見された。	130201	90	100 ～ 299
2003	2	18 ～ 19	常態として70時間から80時間の時間外労働があり、応接室で打ち合わせ中に倒れた。	170209	90	30～ 49
2003	1	23 ～ 24	高速隊隊員が追越車線に停車しているトラックの中で意識不明になっている者を発見したが、瞳孔が拡大し心肺停止状態であった。	40301	90	100 ～ 299
2003	1	19 ～ 20	仕事で出勤する前に、ユニットバス内に入ったときに死亡した。	150101	90	10～ 29
2003	1	16 ～ 17	会議中に気分が悪くなって席を外し、しばらくしても戻らないので様子を見に行ったところ、意識不明の状態で見倒れているところを発見された。	30309	90	10～ 29
2002	1	22 ～ 23	時間外労働が月間最大140時間近くなったため、うつ病を発症し自宅で縊死した。	80209	90	30～ 49
2002	7	10 ～ 11	事業場の事務室で朝食をとって突然意識を失い、救急車で病院に移送したが急性心不全により死亡した。	140301	90	30～ 49
2002	11	14 ～	ライスセンターにおいて、トラックで搬入された大豆のサンプリング中に倒れているのを運転者が発見した。（心筋梗塞）	170209	90	100 ～

		15				299
2002	8	1 ～ 2	タクシー運転中に意識不明となっていたところを他社の乗務員に発見された。	40201	90	100 ～ 299
2002	6	1 ～ 2	業務中に転倒し、湖で遺体で発見された。（溺死の疑い）	30302	90	1～9
2002	3	22 ～ 23	タクシー運転手がパンクしていたタイヤをスペアタイヤと交換した直後に、急性心筋梗塞で倒れた。	40201	90	100 ～ 299
2002	3	1 ～ 2	タクシー乗務中に、乗客にナイフで刺されたので車外に逃げ出したが、さらに首・背中を刺されて死亡した。	40201	90	100 ～ 299
2002	6	4 ～ 5	朝刊配達中、突然暴漢に襲われて、ヘルメット及び暴漢の車両に積み重ねられていたチャイルドシートで数十度にわたり殴られて死亡した。	80205	90	30～ 49
2002	8	11 ～ 12	台風で座礁した貨物船の船内と海洋に流れ出た重油の回収作業のため、10名の労働者が左舷バラストタンク内に立ち上がったときに硫化水素中毒となり2名が死亡した。	150109	12	10～ 29
2002	8	11 ～ 12	台風で座礁した貨物船の船内と海洋に流れ出た重油の回収作業のため、10名の労働者が左舷バラストタンク内に立ち上がったときに硫化水素中毒となり2名が死亡した。	150109	12	10～ 29
2002	5	15 ～ 16	社会福祉法人で、同施設の労働者（28歳）が面談していた入所中の男性に出刃包丁で胸を刺された。	130201	90	30～ 49
2002	3	5 ～	トラックで配送先へ向かう途中、用を足したくなり車から出てしばらくしても戻って来ないので同乗の妻が付近を探したところ、ガード	40301	1	1～9

		6	レール下4.5m下の用水路に転落していた。			
2002	1	6 ～ 7	正月休み中に工場2階にある寮に一人で残っていて、自室の電気ストーブから出火した火災のため有毒ガス（一酸化炭素）を吸い込んだ。	11209	12	10～ 29
2002	3	20 ～ 21	ガソリンスタンドでの勤務を終えて隣接の支店に入り売上金を保管したときに、強盗に頭部を鈍器で殴られ頭蓋骨骨折による脳挫傷で死亡した。	170209	90	10～ 29
2001	2	18 ～ 19	駅に勤務していて、勤務終了時刻の18時頃に駅内トイレで暴漢に背中を包丁の様なもので刺された。	40101	90	300 ～ 499
2001	11	17 ～ 18	駐車場で爆発音がしたので様子を見に行ったら、ダンパー車の横に血まみれで倒れている者を発見した。現認者がいないが、廃液から可燃性のガスが発生していて、タンクに入って廃液の量を確認しようとハッチを開放した際何らかの原因で引火したものと考えられる。	150102	14	10～ 29
2001	7	10 ～ 11	道路工事に使用する竹を伐採中、蜂(通称「ササバチ」と推定)に左瞼付近を1箇所刺され、約2時間後に収容先の病院で死亡した。	30109	90	30～ 49
2001	6	8 ～ 9	資材倉庫内において、「いてっ」という声が聞こえたので入口付近にいた同僚3人が様子を見に行くと、倉庫内で呼吸困難な状態で倒れていた。(行政解剖の結果では外傷性心破裂)	30106	4	10～ 29
2001	6	14 ～ 15	山林に通じる道周辺の草刈りを行い刈取った枯草等を集めて焼いていたところ、火が付近の枯草に燃え移り山林に延焼したので山林内に入り消火中に火煙に包まれ焼死した。	170209	16	30～ 49
2001	5	16 ～ 17	高所作業車内で検相を実施したのち、家側と接続することになったが、高圧縁廻し線が短いと別電柱の縁廻し線の碍子バインド線を外して縁廻し線の位置をずらし、再び接続する電柱に移動したとき、感電した。	30309	13	50～ 99

2001	5	9 ～ 10	ビル屋上のキュービクル内の電気設備の年1回の法定点検を実施したのち、トランス内の異常警報を防災センターに通報する工事を全停した後に行う予定のところ、許可が出る前に作業を開始したため、6600Vの充電部に触れ感電した。	30301	13	1～9
2001	2	12 ～ 13	閉店後に裏口から侵入してきた強盗に左首やあごを包丁で刺された。	80201	90	50～ 99
2001	3	4 ～ 5	配達を終えて事業場に帰着したときに、1階作業場から火が出ていたの で、同僚らと消火を行ったものの、火は瞬く間に燃え広がり木造モル タル2階建の店舗を全焼したが、鎮火後、奥のトイレ付近で死亡してい た。	80205	16	10～ 29
2001	1	20 ～ 21	パチンコホールに警察官を名乗る男が来店し、「責任者に会いた い。」と言ったので店長が不在のため主任がその男を事務所内へ案内 し、しばらくして他の店員がその事務所に入ったところ刃物のような もので数箇所刺されて倒れていた。	140309	90	10～ 29
2000	1	23 ～ 24	タクシーに代行運転員1名を乗せ客先へ向かう途中、T字路で右折する ため道路の中ほどまで出て停止していたときに通りかかった歩行者が タクシー左後部を蹴ったのでタクシー運転者が注意したところいきな り殴られた。	40201	90	50～ 99
2000	8	15 ～ 16	炎天下でワイヤーモッコを地下に降ろす作業中、地上の材料置場で残 材の片付けを行っていて、熱中症により死亡した。	30199	90	1～9
2000	12	0 ～ 1	軽乗用車に現金を積んで2ヶ所に届けるため走行中、道路上で車を止め られて拳銃の銃弾を腹部にを受けた。	90101	90	10～ 29
2000	5	16 ～ 17	パドックで競走馬の周回を開始したところ、索引する馬の後足が接触 して仰向けに転倒したが手綱を離さなかったため、馬の後足で数回踏 まれた。	140309	6	10～ 29

2000	3	2 ～ 3	貸し金庫の警備会社の警報機が作動したので駆けつけたところ管理していた者が顔と両足を粘着テープでぐるぐる巻きにされ、後ろ手に手錠を掛けられ窒息死していた。	170209	90	1～9
2000	7	20 ～ 21	店内で万引した者を発見し追尾したところ、走って逃げたため全力疾走で約200mほどおいかけたところで一度気を失い倒れ、他の者が万引を捕まえたものの、事務所へ戻って意識を失い心筋梗塞で死亡した。	80201	90	50～ 99
2000	5	8 ～ 9	銀行へメール等(現送バックを含む)を搬送する車に現金等を搬入しているときに、通用口前に停車中の現金輸送車の陰から拳銃を持った男が飛び出してきたりして発砲し、現金を盗み逃走した。	170201	90	100 ～ 299
2000	10	3 ～ 4	タクシーの運行業務中、客に左胸をナイフで刺された。(運転席の売上金バックが無くなっていた。)	40201	90	300 ～
1999	12	3 ～ 4	事業場2階の寮で就寝中、事業場(工場)が火災となり焼死した。	10805	16	1～9
1999	10	14 ～ 15	水族館から依頼されたハイビジョン展示ソフトの海中撮影中に、潮に流され水死した。	100109	10	100 ～ 299
1999	2	17 ～ 18	4tトラックで荷物を載せるため営業所に行き、プラットフォーム上で荷物の固定作業を手伝い始めて間もなく、くも膜下出血を発症し倒れた。 (業務上災害として給付決定)	40301	90	50～ 99
1999	9	0 ～ 1	木造新築工事現場で2階からアルミ製はしごを使って降りようとしたときに足を踏み外して約3.1メートル転落し、コンクリート土間で頭部を打った。	30202	1	1～9
1999	9	8 ～ 9	担当する馬に騎乗し朝の乗り運動のため厩舎周辺路上を周回中、突然暴れ出して起立したため、馬上より後ろへ墜落した。	140309	1	1～9

1999	10	5 ～ 6	コンビニエンス店で、客を装った男が同店内で商品の陳列をしていた店員に刃物(刃渡り約12センチメートルの切り出しナイフ)を突き付け「金を出せ」と脅したが、これに抵抗したため刃物で左腹部を数回にわたって刺された。	80201	90	10～ 29
1999	9	15 ～ 16	銀行の閉店間際に侵入してきた強盗に、腹部を猟銃で撃たれ、病院で死亡した。	90101	90	10～ 29
1999	8	8 ～ 9	皮革工場鞣工程の作業場で強アルカリ排水に暴露される危険のある箇所素足で作業したり、靴下もはかずに直接長靴を履いて作業をしたため、左足下腿露出部が腫れ上がり、翌々日の朝になって突然気分が悪くなって病院に運んだが、敗血症、肝不全などで死亡した。	10807	90	30～ 49
1999	9	15 ～ 16	大型トラックのタイヤ交換のため、タイヤに空気を充填しているときに、突然タイヤが破裂して当たった。	40301	15	50～ 99
1999	8	6 ～ 7	施設内ごみピットより火災が発生したので消火活動を行ったが消火ができず、消防署に連絡して消防車が来たので誘導しようと屋外の門の所まで行ったときに、急性循環不全のため死亡した。	150102	90	10～ 29
1999	5	9 ～ 10	工場内で1つしかない金型のことで口論となり、興奮してきた加害者を周囲にいた労働者2名で体をおさえて被災者と引き離れたものの、被災者が加害者に近づいてきたため、加害者が右手で被災者の左頬を殴り、そのはずみで被災者が仰向けにコンクリート床に倒れ後頭部を強打し、入院先の病院で死亡したものである。	11209	90	30～ 49
1999	7	11 ～ 12	教育の一環として牛等の動物の飼育も導入している全寮制の高校で牧場で推定体重600キログラムの5歳の雄牛を散歩させていたところ、牛が突然暴れて、激突されてコンクリート柵に押しつけられた。	120109	6	10～ 29
1999	7	23 ～ 24	タクシーで走行中、左胸をナイフで刺され死亡した。(なお、運転席の現金カバンが無くなっていた。)	40201	90	100 ～ 299

1999	4	10 ～ 11	営業活動のため車で走行中、トンネル内に落下物があったので、避けようとしてトンネル左側面に接触し、弾みで対向車線をオーバーして、対抗の4tトラックに正面衝突した。	80109	17	300 ～ 499
1999	7	14 ～ 15	オフロードコースで、開発中のバギー車に乗って、走行耐久試験を行っていたところ、アップヒルの頂点を通過する時に前転して前方に放り出され、バギー車の下敷となった。	11502	2	1000 ～ 9999
1999	5	11 ～ 12	傾斜角30度の雑木林において伐採作業中に、火災に気付き消火しようと火元に近づいたが煙と炎にまかれ焼死した。	60209	16	10～ 29
1999	1	11 ～ 12	病院の検査室で、年間スケジュール表を自分の机の前のガラスに貼ろうと椅子に乗ったときに、バランスを崩して椅子から転落し頭部を強く打した。	130101	1	300 ～
1999	2	16 ～ 17	ダイレックス製造所でダイレックスの充填、包装作業を行っていたときに爆発した。	10899	14	30～ 49
1999	2	16 ～ 17	ダイレックス製造所でダイレックスの充填、包装作業を行っていたときに爆発した。	10899	14	30～ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to https://www.jisha.or.jp/international/topics/202210_29.html